



食農教育事業



食の大切さ、食を支える農業の大切さを育てることから知ってもらおうと、湊城西小学校5年生56人を対象に農作業体験学習を実施しました。

この体験学習はJ A 営農部近くの畑を利用して年4回行われ、児童たちがJ A 女性部員や能代市農業技術センター職員を講師に、様々な作物の植え付けから収穫までを体験します。

初回となる5月8日は、ジャガイモとねぎの植え付けを実施しました。作業前には佐々木女性部長が、植え付けを行う農作物の特徴や栽培方法などを丁寧に説明し、児童たちは興味深く聞き入っていました。その後圃場へ移動して、植え付けを開始しました。児童たちは、大きなおいしいイモができることを願いながら丁寧に植えていきました。その後あとねぎの定植にも挑戦。農業技術センターの職員から教えてもらいながら、チェーンポット苗を専用機械『ひっぱり君』で定植し、優しく土を掛けていきました。

また2回目の5月28日には、サツマイモとカボチャの植え付けを行いました。児童たちは説明を受けた通りサツマイモの苗の葉が土の外に出るよう、気をつけながら植えていき、その後カボチャも植え元気に育つようと水を掛けていきました。

佐々木女性部長は、「普段何気なく食べている野菜がどのように出来るのかをこの体験学習で学んでもらいたい。そして、作物を作る楽しさ、苦労両方を感じてもらいたいです。」と話してくれました。



← 植え方を説明する佐々木女性部長



← 丁寧に種イモを植える児童



→ 女性部員と一緒に楽しく作業



→ ひっぱり君を使ってねぎの定植も体験

環境美化活動

J A 女性部二ツ井支部では5月25日に環境美化活動の一環としてJ A 二ツ井支店の花壇整備を行いました。この取り組みは、J A を利用されるお客様により良い環境を提供しようとしたものです。

当日は女性部員16名が参加し、事前に二ツ



井支店の職員が草取りや整備を行った花壇にゴーヤやペチュニアの花苗を丁寧に植えていきました。支店の前は色とりどりの花で鮮やかに、訪れたお客様の心を和ませています。

また、各支店においても女性部員が協力し花の苗を植え、活動を通して部員同士の交流も深めることができました。



→ きれいに植えられた花々